

茜染の魅力広めたい

鹿角高家庭クラブ3年生



12日の東北大会に臨む(左から)柿澤さん、木村さん、佐藤さん

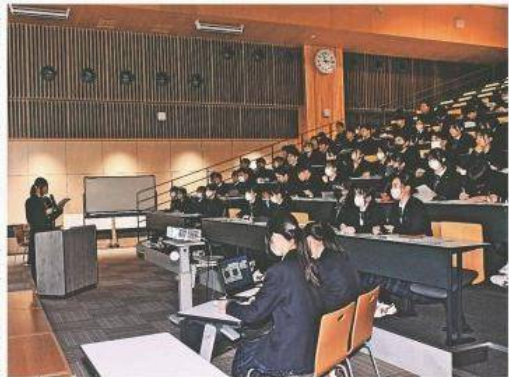
鹿角市の鹿角高家庭クラブの3年生3人がきょう12日、福島県いわき市で開かれる「東北ブロック高校家庭クラブ連盟研究発表大会」に県代表として出場する。鹿角市に伝わる茜染の文化について、伝承や魅力発信などクラブの取り組みを発表する。3人は「茜染の良さを伝えたい」と意気込んでいる。

きょう東北大会 伝承の在り方発表へ

茜染は紫根染とともに奈良時代に鹿角に伝わったとされる。伝承者の死去などで2度途絶えたが、現在は「鹿角紫根染・茜染研究会」が伝承活動に取り組んでいる。

研究は鹿角高の前身である十和田高校の家庭クラブが2022年度から行ってきた。昨年度は東北代表に選ばれ、今年8月の全国大会に出場した。3年目となる本年度は、過疎と高齢化が進む中で、地域住民と共に取り組む伝承の在り方について研究。原料の違いによる染色の差異や、アカネやムラサキ以外の草木染についても調べた。魅力を発信するため、昨年度に続いて茜染のコースジウを制作し、市内の道の駅で販売するなどした。小学生向けの茜染体験教室で講師も務めた。

10月16日に潟上市で開かれた県高校家庭クラブ連盟研究発表大会では、地域の



東北大会を前に1年生の授業で発表した

文化伝承に携わっている点や3力年での研究が評価された。2年連続出場の東北大会では、全国大会で登壇した佐藤結衣さん、柿澤さくらさん、木村ひなたさんの3人が発表する。9日には家庭課題研究1の授業を選択している1年生にスライドを使って発表した。家庭ク

ラブ顧問の能島直美教諭は「何度も練習をして発表内容を練り直し、自信をもって発表できるように頑張っている」と話す。佐藤さんは「茜染の魅力を広めたいという気持ちをしつかりせて発表したい。全国大会を目指したい」と力を込めた。

(本多恒顕)